

「朝河史学からたどる国民性と和解」

日時

2020年1月11日(土) 13:00～17:00

会場

戸山キャンパス 33号館7階702教室

講演者

矢吹 晋 (横浜市立大学 名誉教授・
朝河貫一博士顕彰協会代表理事)

甚野 尚志(早稲田大学 教授)

司会

浅野 豊美(早稲田大学 教授)

朝河貫一は北米最初の日本人人文学博士学位取得者となった人物である。イェール大学歴史学部教授として活躍しながら、第二次大戦中の晩年、戦争を引き起こす「国民性」についてこう語っている。「諸国民の精神活動には無意識の習性がある」にもかかわらず「お互いに自己自身について気づいて」いない。「お互いの言葉と行動が相手にとって手に負えないことが国際的な悲喜劇の根本原因」である。朝河自身、自らの歴史研究は「すべて、それぞれの社会意識の形成過程とその歴史的な現れの特異な方法という単一の問題に向かってきた」と述べている(書簡集720-1頁)。朝河史学の方法を辿りつつ、アジアとの和解を再考したい。

§ プログラム §

13:00～13:10 開会挨拶(浅野 豊美)

13:10～15:00 講演「天皇制と朝河貫一国際比較に耐える日本史像を求めて」
(矢吹 晋)

講演「比較封建制から国民性の研究へ—朝河貫一の歴史研究の軌跡」
(甚野 尚志)

15:00～17:00 早稲田大学歴史館「朝河没後70年記念展」見学ツアー

*共催：早稲田大学国際和解学研究所、朝河貫一博士顕彰協会

主催・問合せ



WIAS

早稲田大学 高等研究所

入場無料・事前申込不要 直接会場にお越しください。